



かんれい

学校だより 第22号

発行 函嶺白百合学園小学校
足柄下郡箱根町強羅 1320
Tel 0460(87)6611
発行日 平成26年 6月23日

歩いて歩いて！春の遠足 4年生



「ヤッホー」「ここ気をつけてねー」木々をぬけて響き渡るのは、4年生の元気いっぱいの声・声・声。上り坂もなんのその。大きな声で話し、歌い、国語の詩を暗唱し…、絶え間なくあふれる元気に 山もすっかり目を覚ましたに違いありません。

目的地が大文字山、しかも登山と知り、待ちに待った遠足…とはなら

なかった子もいたもよう。しかし、終わってみれば「がんばった」「楽しかった」「また登ってみたい」ということばが日記帳におどっていました。「大」の文字の1画目から強羅の町を見下ろしたときの爽快感、そして強羅に続く細く長い階段を上りきって学校に到着し、改めて大文字山を見上げた時の達成感の証でしょう。お天気に恵まれた 楽しい1日でした。

日記より「運動会に向けて」 6年生

「全ての行事が今年で最後で、このクラスのメンバーで行うのも最後。」そう先生が終礼でおっしゃった時、私はハッとしました。いつも当たり前に来てきた何もかもが、今年、みんなでできる最後のチャンスなのです。なんだか悲しい気持ちになりました。そして、その数日後、ダンスのふりつけが大はばに変更になり、(あと一週間しかないから、大変。)と、不安にもなりました。ですが、みんなで協力して、最後のダンスにふさわしい素敵でカッコいいダンスを作り上げていきたいと思います。係活動も、競技もダンスも、何もかもが最後。精一杯がんばって、くいのない運動会にするのが私の目標です。(K, A)



心のひまわりを育てよう。 3年生

今日の理科の授業は、子どもたちが種から育てたひまわりの苗を、花壇に植えました。このひまわりは、東京のマ・スールを通じて東日本大震災の被災地を訪れた関町白百合幼稚園の園児さんから譲り受けた種を育てたものです。石巻市立大川小学校のご家庭が、石巻の土で育てたひまわりの種です。



多くの犠牲者を出した東日本大震災、そのご遺族は今もその悲劇から立ち上がろうと懸命に努力しています。授業の最後に、ご遺族の心の負担が少しでも和らいでくれるよう、みんなでお祈りいたしました。このひまわりを見た方にも、お祈りをしていたらいいように、3年生からのメッセージボードも立てました。



しっかりとお世話をして、立派な花を咲かせるようにがんばります。この授業をとおして、命の大切さや思いやり、家族の大切さを再確認し、このひまわりと同じように豊かな心がめばえ、育ち、大きな花を咲かせてくれることでしょう。

長さをはかろう 2年生



今日は、教室にあるいろいろな物の長さを30cmものさしを使って測りました。はかるものを決め、まずは長さがどのくらいか予想をたてます。前の授業で指の長さや、手のひらの長さをはかったことを生かし、「私の手のひらは14センチだったから、ロッカーの長さは手のひら2個分くらいかな。ということは28cmくらいだ！」などと、なかなかの名予想ぶり。

実寸をはかり、「予想通りだった」、「あーあと少したりなかった」、「おっしい！」などの声をあげながら、夢中になって物の長さをはかっていました。中には、お友達と定規を合わせて30cmよりも長いものの長さしらべにチャレンジしている子どももいました。

学んだことを、実際の生活に生かせることに喜びを感じた1時間になりました。



針と糸を使って・・・ 5年生

5年生から始まった家庭科。5月14日から針と糸を使って、お裁縫を始めました。最初は玉結び・玉どめ。そして、名前の縫い取りにも挑戦です。子どもたちは皆、高橋先生の説明をよく聞き、集中して作業を進めているようです。先生も「みんな、意欲的で上手ですよ」とおっしゃっていました。私も練習用の布を見させてもらいましたが、綺麗に縫えています。

先週はボタン付けをおこないました。ボタンは足つき・二つ穴・四つ穴の3種類。今後は、なみぬい・返しぬい・半返しぬいなどを学習していく予定だそうです。お裁縫の基礎基本をしっかりと学んで、いろいろなものを作れるようになるといいですね。今年の5年生は何を作るのでしょうか・・・



5年生から家庭科の授業が始まりました。最初はどのようなことをするのだろうと、ドキドキしていました。そして、今日はボタンのつけ方を教わりました。私は四つあなボタンをつけるのが、一番楽しかったです。もう少しいろいろなことを教わったら、ミシンも使って家族にバックやポーチを作ってプレゼントしたいです。

(M. M)

今年から家庭科が始まりました。私が一番楽しみにしていたことは「お裁縫セット」を配られることです。今年は猫の柄でとってもかわいくてうれしかったです。初めておさいほうをやった時は、どうやって玉どめ・玉結びをしたらいいのかわからなかったけれど、先生や友達が教えてくれたので、だんだん分かるようになりました。おさいほうはむずかしい時もありますが、とっても楽しいです。できなかったことができるようになると、もっともっとうれしいです。

(I. T)

5年生の楽しみ。その一つが家庭科です。今まで家庭科の授業をやって、楽しかったことは二つあります。一つ目は、青菜と卵のゆで方を習ったことです。青菜は、ゆでると色鮮やかになり、やわらかくて少しあまくなるので、試食をした時とてもおいしかったです。卵は数分ごとに分けてゆでて、食べ比べをしました。おいしいと思ったのは、ゆで時間が一番短かった卵です。また、先生が卵のゆで方のうらわぎを教えてくださいました。まだそのうらわぎを使ったことはありませんが、今度使ってみようと思います。二つ目は、自分の名前をカタカナでぬったことです。私はどうしても書き順通りにぬいそうになり、時間がかかりました。でも、ぬい終わるととてもうれしくなりました。目標は、もっと速くぬうことができるようになることです。私は、最初おさいほうは苦手だなと思っていましたが、先生や友達にわからないところを聞いていううちにどんどんできるようになって、楽しくなりました。家庭科は楽しいうえに生活の中で役立つことばかりなので、いい教科だなと思います。これから習うことを大人になっても生かせるようにがんばりたいです。

(I. M)

やったー！めができました 1年生

今週の月曜日の15分休み、あさがおにお水をやりに行った時のことです。すでにあさがおにお水をやっていた子ども達の間では、「先生、めが出ている。めが出ている。」と興奮をかくしきれない声のとびかっていたいました。ふと、うえきばちに目をやると、いつのまにか出てきたふたつの葉や少しだけ土から顔を出している芽を発見することができました。まいた5つの種から全てめが出ている人もいれば、まだ2つ3つからしか芽が出ていない人もいました。子ども達の中には、「早く出ておいでー。」「もっと大きくなあれ！」と声をかけて、5つの種すべてからめが出るのを積極的に待ち望んでいる人もいれば、自分のあさがおは全部めが出てこないのではないのかと、心配そうにうえきばちを見つめている人もいました。あさがおのめが出てきたことで、いろいろな子ども達の様子を知ることができました。その場にいた他学年の先生にまで、あさがおのめがでたことを知らせている人もいて、子ども達は本当に嬉しそうでした。つぎはどんなふうに変化していくのか楽しみなあさがおの成長！ これからも毎日、観察していきたいと思います。

かわいいめが でてきて
よかったです。 T. F



クローバーみたいな めが
でて うれしかったです。
N.S



きみどりいろの はっぱが
できました。 T. T



きれいな あさがおの
おはなが
さいてほしいです。 I. A

NHK-BS プレミアム「新日本風土記」 副題「箱根」

番組の一部として本校のようすが放映される予定です。

放送予定：7月25日(金) 夜 9:00~9:59

※ 放送日が変更になることもございます。

児童作品展 第3回 かんれいっ子展

8月20日(水)~25日(月)

場所：飛鳥画廊（小田原銀座通り）

